

2021 年 8 月 5 日

「2050 年カーボンニュートラルビジョン」の策定について

静岡ガス株式会社（代表取締役 社長執行役員 岸田裕之）は、国内外での地球温暖化対策への社会的要請の高まりを受けて、静岡ガスグループの中長期的な方向性や取り組みを示す「2050 年カーボンニュートラルビジョン」を策定しました。

主たる事業を展開する静岡県の豊かな自然や、充実した産業基盤などの特性をいかし、お客さま・地域とともに、さらなる強固なパートナーシップを築き上げ、CO₂ の排出削減・吸収に取り組みます。カーボンニュートラルメタンや水素、アンモニアなど新技術の活用に挑戦するほか、再生可能エネルギー電源の開発加速や森林保全を通して、2050 年のカーボンニュートラルを目指します。

カーボンニュートラルの実現には、革新的な技術が実用化されるまでに多くの時間や社会的なコストが必要となります。当初 10 年を移行期として位置づけ、2030 年をめどとする以下の数値目標を設定します。

- ・ CO₂ 削減貢献量 ▲200 万 t^{※1}
- ・ 国内外における再生可能エネルギー電源容量 20 万 kW^{※2}

静岡ガスグループは社会の大きな変化を見据えながら、これからもお客さまとともに歩み、持続可能な社会の実現と地域社会のさらなる発展に貢献してまいります。

（資料）静岡ガスグループ 2050 年カーボンニュートラルビジョン

※1 2021 年度から 2030 年度までの静岡ガスグループの事業活動を通じた CO₂ 削減貢献量。

※2 FIT 電源、調達を含みます。

以上